



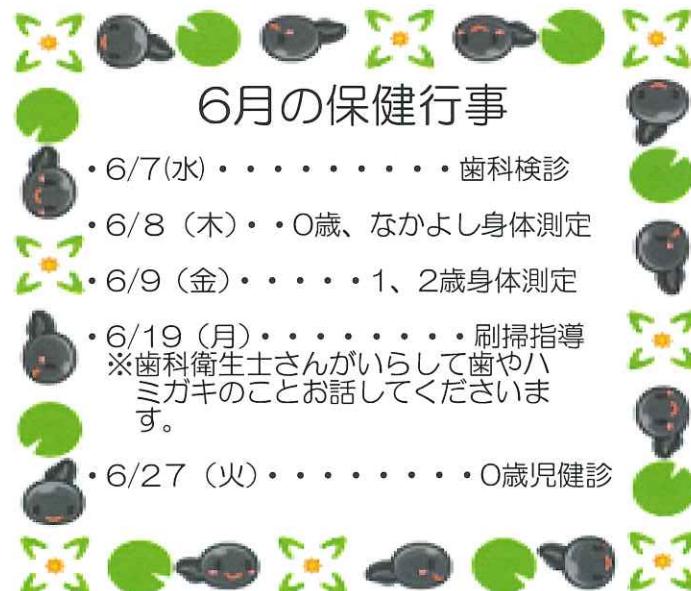
6月

色とりどりのアジサイの花びらに、雨の雫がきれいに光る季節になりました。半面ジメジメする梅雨期の季節・・・。この時期、気温の変化に意外と体力が消耗し、発熱や下痢などの症状を起こしやすいようです。早く寝て睡眠を十分にとり消化のよいもの・バランスの良いものを食べ、元気に乗り切りましょう。よろしくお願ひします。

歯科検診について

☆日時：6月7日（水） ☆時間：9：30頃～
今年度もローレル歯科医院の相田先生が検診してくださいます。
アンケートをメッセージで送信しますので、何か質問や心配なこと
がありましたら小さいことでも構いませんので、お知らせください。
よろしくお願ひします。

※検診当日に欠席された場合、後日保護者の方と
直接ローレル歯科医院に検診に行っていただいて
います。詳細はまたお伝えします。よろしくお願
いします。



6月の保健行事

- 6/7(水) 歯科検診
- 6/8 (木) .. 0歳、なかよし身体測定
- 6/9 (金) .. 1、2歳身体測定
- 6/19 (月) .. 刷掃指導
※歯科衛生士さんがいらして歯やハミガキのことお話ししてくださいます。
- 6/27 (火) .. 0歳児健診

5月の健康状況

- ☆発熱 27名
- ☆嘔吐、下痢 6名
- ☆咳、鼻水 22名

4月から5月にかけ、体調不良でお休み、早退者も増えました。

年度初めで子どもも大人も疲れが出やすいため、休養、栄養をしっかりとり、体調を整えていきたいですね。



食中毒～予防の3原則～



梅雨時期の皮膚トラブル

湿度が高くて汗がひかないと皮膚の湿疹の原因となり、特にアトピー性皮膚炎の子には悪化要因となります。また、あせも（汗疹）を搔いたり、虫刺されあとをかくことで細菌が入り込み、あっという間に「とびひ」という、細菌による皮膚の感染症を起こしやすくなることが多く見られます。

※保育園の登園について

とびひの部分が乾燥しているか、きちんと覆うことができていれば登園できます。ただし、頭部や顔面などとびひの部分を覆うことが難しい場合や、範囲が広く、浸出液が多いため、他の子どもに感染を広げてしまう可能性がある場合はお休みしていただくこともあります。

「とびひ」にならないために



●日頃から、皮膚を清潔に保ちましょう。

- 手をよく洗いましょう。
- 爪は短めに切りましょう。
- お風呂で、石けんで肌をやさしく、きれいに汚れを落としましょう。

●鼻をいじらない

鼻の中には、とびひの原因となる細菌がたくさんいます。鼻の中をいじった手で体を搔くととびひにかかることがあります。

●日頃からのスキンケアと早めの皮膚科受診が大切です

アトピー性皮膚炎のお子さんは皮膚のバリア機能が低下しているので、細菌感染しやすく、とびひにかかりやすい状態にあります。